

鳥取県西部地域におけるバス路線の再編について



市町村間循環線の出発の様子(H30.10.1)



南部町デマンドバス出発式の様子(H30.10.1)

鳥取県の状況



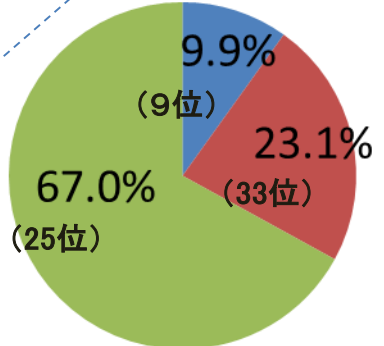
米子鬼太郎空港
よなご きたらう くうこう
YONAGO KITARO AIRPORT



〔位置〕



〔産業別就業者比率〕



〔人口〕

57万3,648人 (47位)

(平成27年国勢調査速報値)

〔面積〕

3,507.31 k m² (41位)

(奈良県と同程度)

■ 第1次産業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業

鳥取県の公共交通の現状

鳥取県はJR山陰本線を大動脈に、県境を跨ぐ智頭・因美線、伯備線、東中西の生活圈ごとに中心市(鳥取市・倉吉市・米子市)から放射線状にバス路線網が構築。

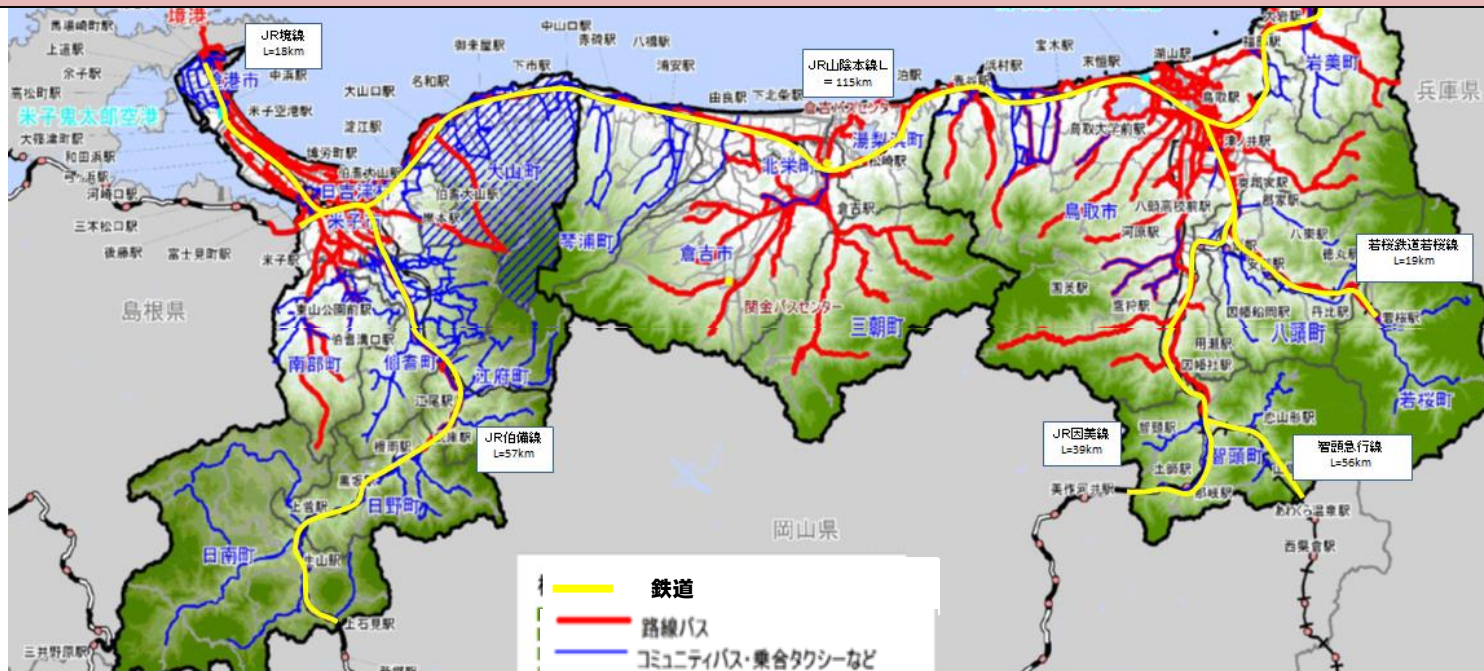
- 人口：過去最大616千人(S60)から43千人減少して573千人(H27)
- 高齢化率：29.7%(H27全国16位、全国平均26.7%)
- 自動車免許証返納者：近年5年間で3倍に増加(H29約2千人)

- JR米子支社の乗車人数：13,586千人(S63)の約7割の9,773千人(H28)
- 乗合バスの乗車人数：78,527千人(S41ピーク時)の1割弱の6,161千人(H28)

市町村において地域の実情に応じた取組を展開 ⇒ さらに生活圈域ごとの広域的な地域交通のあり方検討

※コミュニティバス等を運行している市町村 ⇒ 16/19市町村

※タクシー助成を実施している市町村 ⇒ 17/19市町村



路線再編の取り組み経過

H25.12.4 交通政策基本法の制定

H26.9.24 鳥取県議会において**県が先頭に立ちモデル地域を作って地域公共交通網形成計画の策定を提案**

〔 東部地域及び中部地域は、地域公共交通総合連携計画を策定済み(東部H21.3 中部 H23.3)
→まずは西部地域をモデルに計画策定する方向となった 〕

H26.11.20 地域公共交通活性化再生法の一部改正
→**都道府県も市町村と共同で地域公共交通網形成計画の策定が可能となる**

H27. 4. 9 鳥取県西部地域公共交通活性化協議会立ち上げ
協議会会長：鳥取県地域振興部長、事務局：県
→地域公共交通網形成計画の策定作業開始

〔 大型商業施設（イオンモール日吉津）、大規模総合病院への移動利便性向上やバス停までの距離があり利用しにくいといった意見 → 計画に反映 〕

H28. 3 **鳥取県西部地域公共交通網形成計画の策定**
→地域公共交通再編実施計画の策定作業開始

〔 ・循環線の運賃、乗継割引等の日ノ丸自動車(右回り)、日本交通(左回り)の2社間調整
・路線再編案や新設バス停位置の周知は地元自治体
・JR駅の結節点化はJR米子支社 〕

H30. 7.26 鳥取県西部地域公共交通再編実施計画の中国運輸局への申請

H30. 9. 6 鳥取県西部地域公共交通再編実施計画の認定

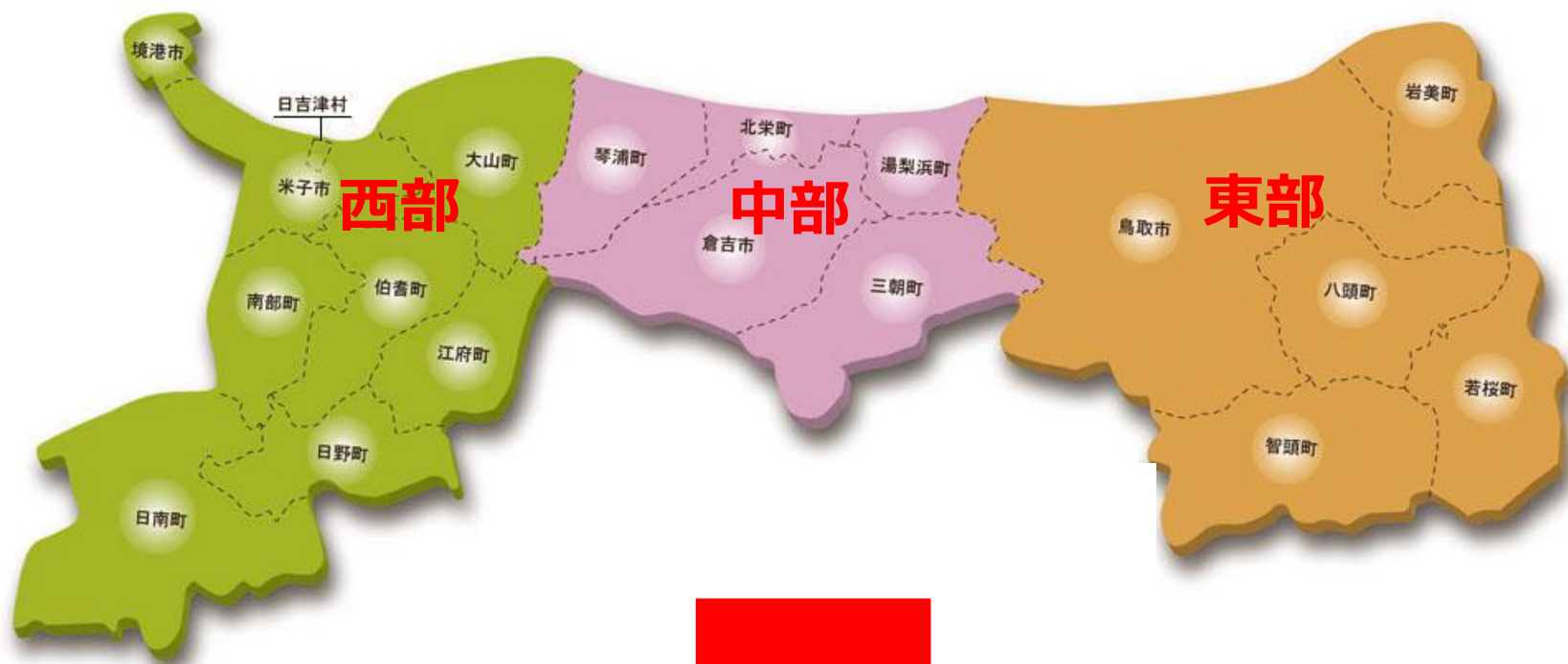
H30. 10. 1 **再編路線の運行開始**

鳥取県の地域公共交通網形成計画の取組み①

鳥取県は、大きく3地域に分けられる

東部：鳥取市
中部：倉吉市
西部：米子市

それぞれ三市を中心に生活圏を構成。
⇒圏域内市町村が密接につながっている
(住民移動も同様)

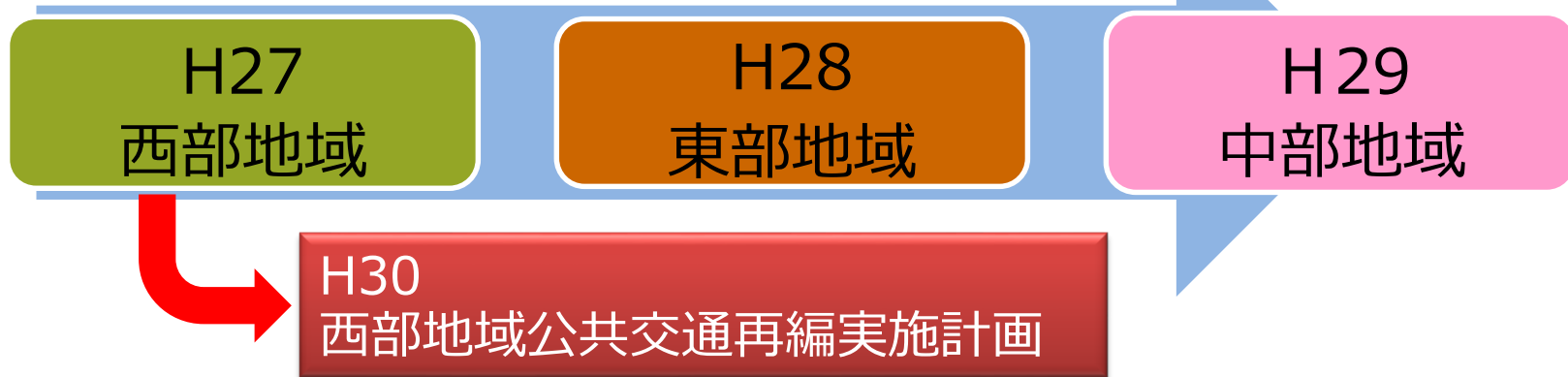


地域ごとに公共交通網形成計画の策定へ

鳥取県の地域公共交通網形成計画の取組み②



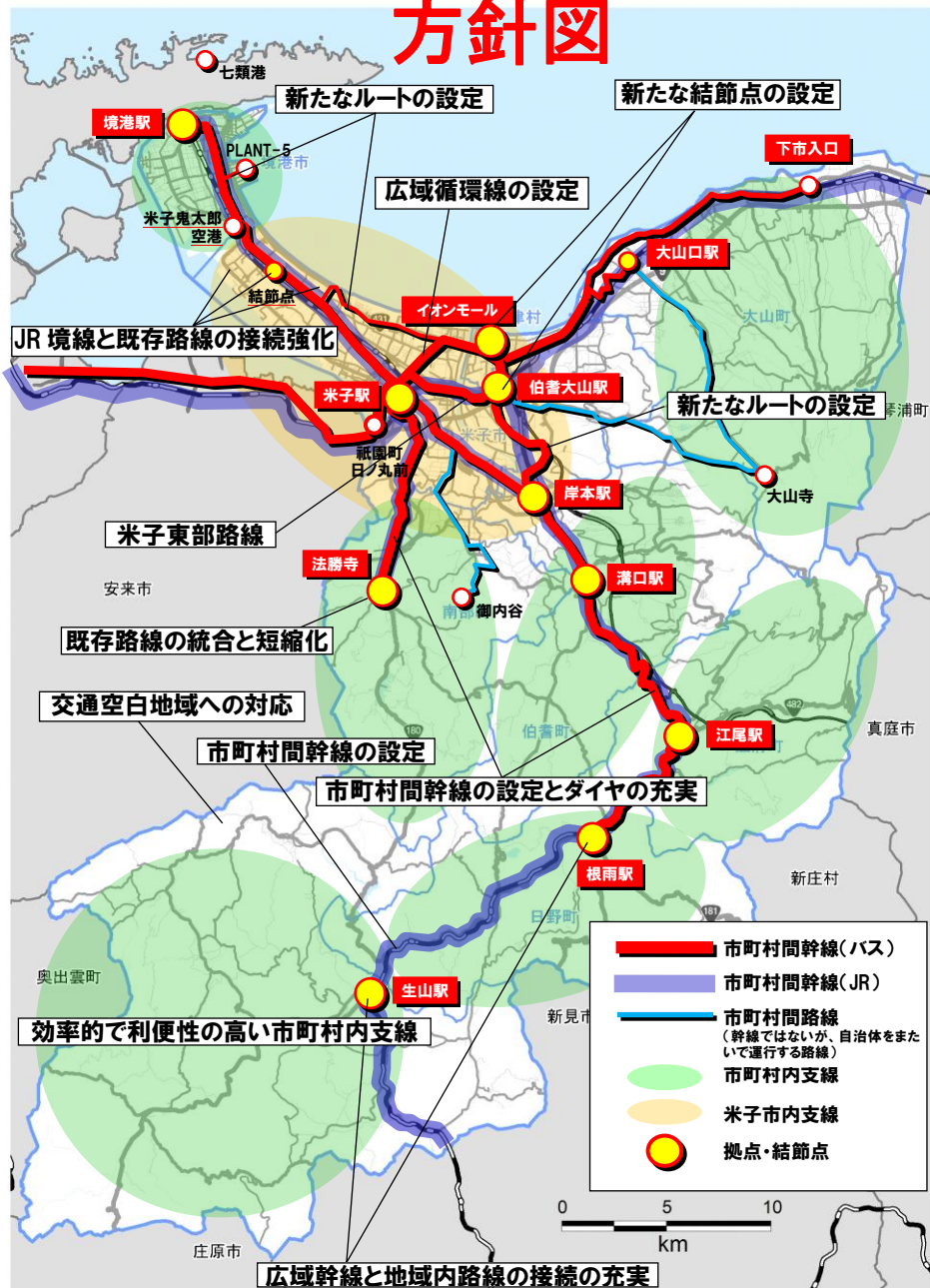
計画策定経過



- 圏域ごとに市町村と共同して地域公共交通網形成計画を策定
- 3ヶ年間で全県を網羅

鳥取県西部地域公共交通網形成計画

方針図



実施事業

目標	事業内容
【目標1】市町村間移動の充実と効率化	1 路線の効率化と拠点間ルート・ダイヤの充実
	2 市町村間幹線と市町村内路線のダイヤ接続の充実
	3 利用者の需要を考慮したダイヤ設定
	4 タクシー等の活用による交通空白地域への対応
【目標2】使いやすい公共交通環境の整備	5 各拠点の待合環境の整備・充実
	6 車両・施設等のバリアフリー化推進
	7 乗継割引、鳥取県西部地域内共通定期券・回数券の導入
	8 ICカード導入の研究
【目標3】わかりやすい情報提供による利用促進	9 総合時刻表等の作成
	10 路線バスの観光利用促進
【目標4】公共交通利用の動機づけ	11 公共交通以外の施策との連携
	12 公共交通に関する情報公開・イベントの開催
【目標5】持続可能な仕組みによる公共交通の維持・存続	13 鳥取県西部地域内市町村の一体的な協議の場づくり
	14 住民主体による運行形態の検討・実施
	15 路線見直しの仕組みづくり

鳥取県地域公共交通網形成計画策定

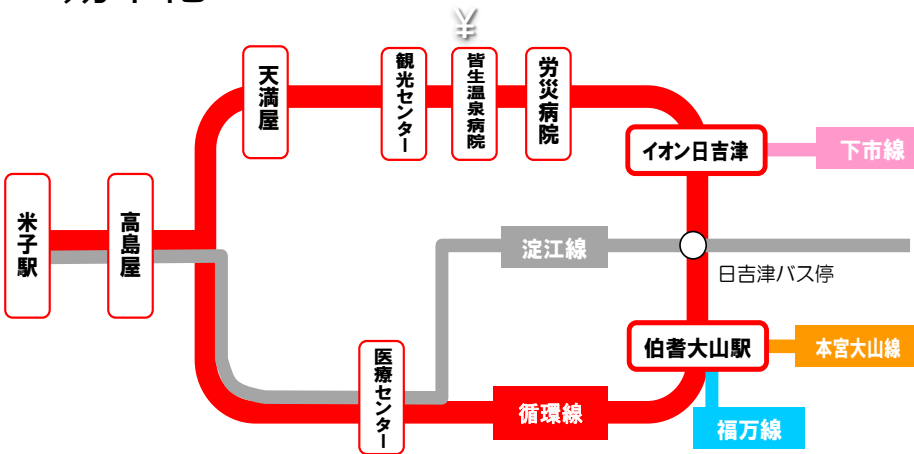
○市町村間移動等の充実と効率化を図るため、**H27から県内3圏域で順次、地域公共交通網形成計画を策定**（H30.3県内全域策定済み）

⇒**県も共同して作成した生活圈ごとに全県網羅する計画は全国で鳥取県のみ！**

○県西部地域では、H30.10.1から通院や買い物等の利便性向上を図る循環線、交通空白地の解消と運行効率化を図る路線再編を実施！

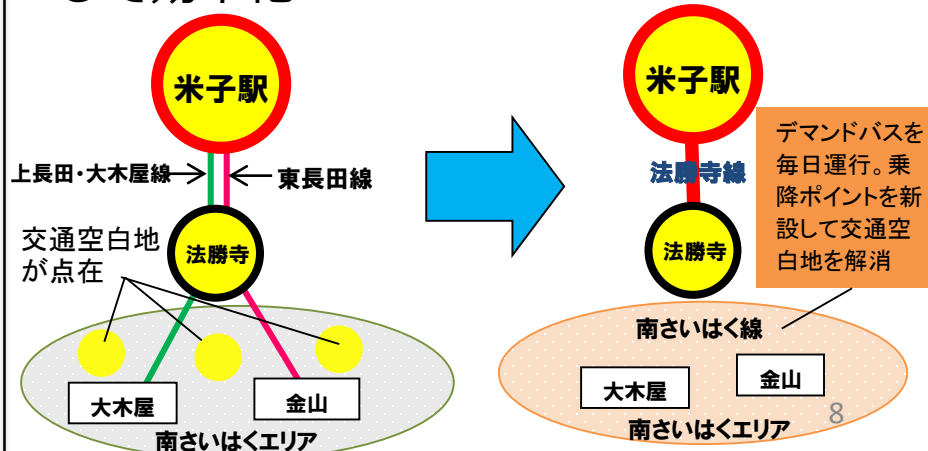
商業施設、医療施設、駅をつなぐ市町村間循環線

- ・ 右回り4便・左回り4便を設定
- ・ **高齢者の活動時間9時～16時に運行**
→**通院や買い物等の利便性を向上**
- ・ 市町村間循環線に接続する支線の短縮・効率化



幹線の効率化及び支線のデマンド化

- ・ 毎日運行するデマンド型乗合バスを導入し、**集落内の乗降ポイント設置で交通空白地を解消**
- ・ 幹線路線バス2系統を統合し重複を見直して効率化



公共交通の維持確保に向けた新たな取組み

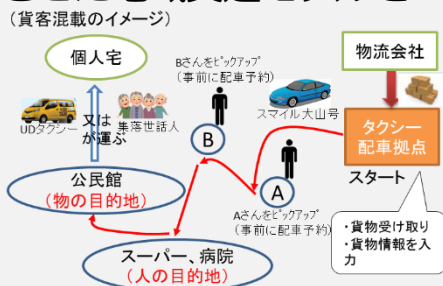
公共交通の維持確保に向け、貨客混載の導入や自動運転技術、カーシェアリングなど、新たな取組みが県内各地で展開中！

●貨客混載導入の検討【大山町】

* 内閣府近未来技術社会実装事業採択

ICT技術を活用した旅客と貨物を同一運行の中で最適ルートで輸送する貨客混載システムの実証開発に取組み、利便性と効率性を両立させた地域交通モデルを構築する。

- ・運行情報と貨物情報（貨物の種類、送り先、サイズ、配達日時、配達完了等）を関係者が情報共有するシステム。



●自動運転の実証実験【八頭町×SBドライブ】

運転手不足、増加する高齢者の移動手段確保といった課題解決に向け、H28.5に連携協定書を締結。H30内を目途に八頭町内公道での自動運転の実証実験に向け関係機関と調整中。

<自動運転導入のメリット>

- ・ドライバー不足対応
- ・高齢化等による交通事故の減少や渋滞の回避



町営バス「さんさんバス」

●カーシェアリング【智頭石油】

県東部地域ガソリンスタンド7店舗で電気自動車等によるレンタカー事業や13箇所でカーシェアリング事業を展開。また、外国人観光客の二次交通対策として山陰海岸ジオパーク周辺で多言語システムを搭載したジオコムス（超小型電気自動車）の実証実験中。

<ジオコムス利用料>

- ・モデルコース3,000円（3時間）
- ・フリー利用2,000円（1時間）



●デマンド型乗合移動サービスの実証実験【山陰インバウンド機構】

境港の大型クルーズ乗船客の二次交通対策として、人工知能（AI）を使った乗合タクシーの運行を目指し、効率的な配車やルート設定、低額料金サービスの提供に向けた実証実験を実施。

- ・8/9境港で実証実験を実施し、40人が買い物等で利用。
- ・料金は1日定額1,000円



写真：8/15付山陰中央新報

UD（ユニバーサルデザイン）タクシーの導入

○H28年4月、日本財団、鳥取県ハイヤータクシー協会、鳥取県が共同で「誰もが移動しやすい新たな公共交通モデル」の構築に向けUDタクシーを導入

⇒ H30年3月22日にUDタクシー200台を導入整備

県内の小型タクシーの約半数がUDタクシーに！

料金は一般タクシーと同額（小型料金）

スペースが広くスーツケースやベビーカー、自転車も積載可能

誰でも乗れる

広いドア、手すり、ステップもついて乗降しやすい

車椅子のままでも乗降可能



H28. 4. 29UDタクシー運行出発式

**UDタクシーを利用して
社会参加を**

ユニバーサルドライバー研修

- 鳥取県ハイヤータクシー協会が全タクシードライバーに研修を行い、心のバリアフリーを推進（H30年度中に全乗務員830人が受講予定）
- 協会内にも講師を養成し自ら研修実施。（県内で10名の講師）



アンケート
「UD研修が今後の接遇に参考となるものだったか？」
⇒約9割が参考となると回答（446名中420名が参考になると回答）
「今後フォローアップ研修（有料）があれば参加するか？」
⇒約8割が参加したいと回答（446名中362名が参加したいと回答）¹¹

UDタクシー導入後に現れ始めた効果 (1)

- 黄色いタクシーとして県民に定着し、移動困難者の方が気軽に気兼ねなく出かけられるようになり、大切な地域交通の手段となっている。
- 福祉、観光など様々な分野で取り組みが始まり、更なる活用の動きが広がっている。

高齢者の外出機会の増加



ヘルパーに買物を依頼していたご高齢の利用者が、**ご自分で買物に出かけるようになった。**
⇒買物中、**運転手が車いす移動介助**を実施。

中山間地域等の交通空白地での活用



高齢者同士が声を掛け合い、**相乗り・外出支援を促すタクシー助成制度の実証実験**において乗りやすいUDタクシーが**非常に好評**

通院での活用



透析患者向けの**送迎サービス**にUDタクシーを活用 (さとに田園クリニック (鳥取市))

UDタクシー導入後に現れ始めた効果 (2)

日本パラ陸上でも大活躍



福祉専用車両と違い、気軽に気兼ねなく利用できる」と好評

荷物の多い観光客に好評



荷物の多い外国人観光客からUDタクシーを指定して配車依頼されるケースが増えてきた。(SNSで拡散中)

サイクリスト支援システム開始



パンクや怪我など走行途中でのリタイヤといった万一の際のサポート体制を備えた、**自転車積載サービス**を西部地域のUDタクシーで開始



UDタクシーの今後の利活用

昨年1月、日本財団、鳥取県ハイヤータクシー協会、鳥取県が共同で
⇒第11回「**バリアフリー化推進功労者**」
大臣表彰を受賞!

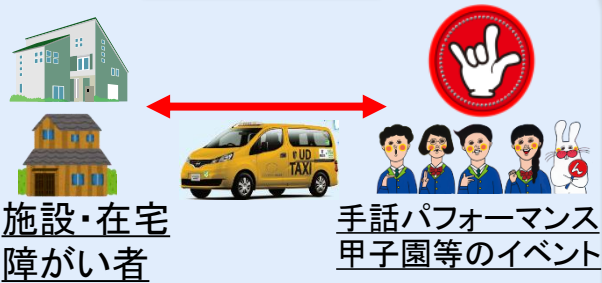


第11回「バリアフリー化推進功労者」大臣表彰受賞
(H30.1.12)

官民の関係機関による「**UDタクシー利活用推進会議**」を立ち上げ、UDタクシーの利用率向上、モデル事例の創出、情報発信等に取り組中

<UDタクシー利活用モデルの例>

福祉分野



障がい者のイベント参加等にUDタクシーを活用

中山間地域等



集落と拠点間の移動にUDタクシーを活用

観光分野



インバウンド等観光需要獲得のためのUDタクシーを活用¹⁴

バスネット、バスロケーションシステム

バス利用者等の利便性向上を図るため、鳥取大学と協力し、バスネット（H18～バス・鉄道経路検索システム）、バスロケーションシステム（H27～バスの位置情報、遅延状況）を構築。

<バスネット>

県内のバス、鉄道経路探索システム

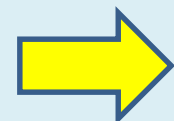
- ・県内全ての路線バス、コミュニティバス、鉄道の経路のほか、バス停までの経路、乗降時間等を表示。
⇒パソコン、スマートフォンなどから検索。

県内26ヶ所の専用端末でも利用可能！
（バスターミナル、駅、病院、観光センターなど）

<http://www.ikisaki.jp> にアクセス



英語表記に対応！



出発地、
目的地、
日時を入力



今いる地点からの移動経路、所要時間の検索が可能

<バスロケーションシステム>

バスの位置情報、遅延状況の表示

- ・バスネット上で即時にバスの位置情報、遅延状況を表示。（専用のスマートフォンを、県内全ての路線バスと一部のコミュニティバスに搭載）

「バスネット」検索結果

バス現在地表示

バスの現在地を表示する

バス停通過状況

遅延状況表示

交通渋滞や天候不良による遅延を利用者が把握可能

公共交通の利用促進に向けた取組み

○公共交通の利用促進に向けた取組みを連携して行うため、**国、県、市町村、交通事業者等**で構成する「**みんなが乗りたくなる公共交通利用促進協議会**」をH30.6に設置。

⇒昨年9月の1ヶ月間を公共交通利用促進強化月間として集中的にPR

●公共交通利用促進キャンペーン

- 公共交通PRイベント
 - ・県内東部、中部、西部の商業施設等での交通トリピー演出や利用促進PRチラシ配布など
- 主要駅、バスターミナル、集客施設等で利用促進のぼり旗掲出等のほか、地域イベント等でPR活動
- 県政だよりや各市町村の広報誌、ホームページや市町村ケーブルテレビ等によるPR広報



【のぼり】



【ポスター】



●公共交通乗り方教室の開催

- 県内で開催されるイベントにあわせバスやUDタクシーの乗り方教室を開催
 - ・公共交通の役割や利用方法、マナー説明等
 - ・バス車両への体験乗車、UDタクシー体験乗車など



鳥取ならではの旅情あふれる「鳥鉄の旅」

JR西日本、第三セクター（智頭急行・若桜鉄道）の新たな観光列車による利用者の掘り起こしで地域活性化を実現！

山陰初の観光列車「天地(あめつち)」

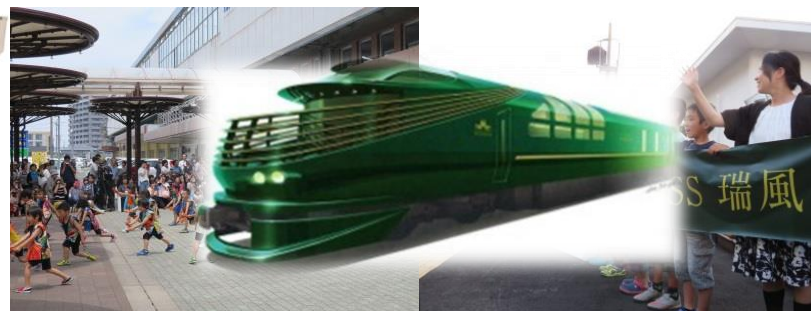
2018/7/1デビュー！天と地の恵みにつつまれる旅へ。



◆古事記の書き出し「天地(あめつち)の初発(はじめ)のとき」に由来。

山陰コースが人気！

トワイライトエクスプレス「瑞風」



智頭急行 「あまつぼし」

智頭沿線の清々しい満天の夜空をイメージ！



新たな鬼太郎
列車デビュー！
全6両が2018/7/14
にリニューアル完了



若桜鉄道

レトロな観光列車「昭和」 & ピンクSL

昭和



八頭号



「八頭号」
3/2デビュー予定！